

CMI 株式会社

本社:東京都港区三田三丁目14~11 鳥和三田ビル8階

電話:+81~3~6453~9601

2021 年上半期 中国のニードルコークス市場

1.生産量

百川盈孚 (Baiinfo) によると、2021 年上半期、中国のニードルコークス (以下、「NC」と略す) 生産能力は約 186 万トンで、2020 年より 26 万トン増加した。1~5 月の生産量は 45 万 3,900 トンで、前年同期比 2.2 倍となった。そのうち、煅焼後コークスの生産量は 24 万 7,400 トンで前年同期を 57%上回り、生コークス生産量は 20 万 6,500 トンで、前年同期の約 5 倍となった。

表 1 2021 年月別 NC 生産量統計 (万トン)

月別	石油系		石炭系	
	生コークス	煅焼後コークス	生コークス	煅焼後コークス
1 月	2.95	3.75	0.20	1.09
2 月	3.35	3.25	0.30	1.44
3 月	3.80	3.25	0.50	1.11
4 月	3.75	3.25	1.15	1.71
5 月	3.60	3.75	1.05	2.14
合計	17.45	17.25	3.20	7.49

出典: 石墨盟

2.価格

2021 年上半期の NC 価格は上昇傾向にあった。6 月末時点の NC 市場価格は、煅焼後コークスは 7,500~11,000 元/トン、生コークスは 5,000~6,500 元/トンであった。

上流の原料及び下流の黒鉛電極と負極材料の価格上昇により、NC のコストが増加し、需要が好転した。また、春節後の低い稼働率と在庫の減少が市場価格の上昇につながった。

表 2 2021 年上半期 NC の価格変動 (元/トン)

	石油系		石炭系	
	煅焼後コークス	生コークス	煅焼後コークス	生コークス
1 月	5,900	4,600	5,400	4,300
6 月	9,500	5,600	8,500	5,150
上昇幅	3,600	1,000	3,100	850
伸び率	61%	22%	57%	20%

出典: 石墨盟

輸入品 NC の成約価格は、石油系生コークスは 850~1,100 ドル/トン、煅焼後コークスは 1,600~1,800 ドル/トン、石炭系 NC は 900~1,300 ドル/トンだった。

CMI 株式会社

本社:東京都港区三田三丁目14~11 鳥和三田ビル8階

電話:+81~3~6453~9601

3. 輸出入

1) 輸入

▶ 石油系 NC

1~5月、石油系 NC の輸入量は 6 万 1,500 トンで、前年同期比 4.5 倍となった。そのうちイギリスからの輸入が 4 万 6,100 トン (Philips 66 社が生産) で、輸入総量の 76%を占めており、主に負極材料と大口径 UHP 黒鉛電極の生産に用いられている。

▶ 石炭系 NC

1~5月、石炭系 NC の輸入量は 10 万 4,100 トンで、前年同期より 44%増加した。そのうち、日本からの輸入が 3 万 6,900 トンで、輸入総量の 39%を占めた。

2) 輸出

百川盈孚 (Baiinfo) の統計によると、1~5月の NC 輸出量は約 1 万 8,000 トンで、前年同期より 50%伸びた。主な輸出企業は山東京陽科技股份有限公司と山東益大新材料股份有限公司で、輸出先国はロシア、インド、日本などである。

4. 下半期の市場動向

1) 供給

2021 年下半期の NC 産業は 85 万トンの増産計画があり、年間生産能力は 230 万トンを上回ると予想される。企業の保守点検や新規設備の稼働状況、市場などを考慮すると下半期の生産量は約 40 万トンと予想される。

表 2 2021 年 NC 増産計画 (万トン)

企業名	種類別	増産計画	備考
中国石化茂名石化公司	石油系	13	2021 年 7 月末から生産開始。
聊城宇通能源科技股份有限公司	石油系	7	2021 年 10 月建設完了。
遼寧宝来生物能源有限公司	石油系	14	2021 年 10 月設完了 (第 3 期)。
山東億維新材料有限責任公司	石油系	15	2021 年 10 月建設完了。
宝武炭材料科技有限公司	石炭系	7	2021 年下半期に建設完了 (内モンゴル事業)。
山西福馬炭材料科技有限公司	石炭系	4	2021 年末建設完了。
太原晟旭炭素有限公司	石炭系	15	生産開始日未定、稼働予定は 10 万トン。
山東恒信新材料有限公司	石炭系	10	2021 年末建設完了後、生産開始。
	合計	85	

出典: 石墨盟

CMI 株式会社

本社:東京都港区三田三丁目14～11 鳥和三田ビル8階

電話:+81～3～6453～9601

2) 需要

▶ 黒鉛電極

百川盈孚 (Baiinfo) によると、2021 年の黒鉛電極の生産能力は約 29 万 5,000 トン増で 180 万トンとなる。黒鉛電極の価格は上昇傾向にあり、稼働率は高く、NC の需要は安定している。下半期は NC の増産計画が予定通りに実行されれば、短期間で供給が需要を上回るようになるだろう。

▶ 負極材料

2021 年のリチウム電池用負極材料の生産能力は 144 万トン増加する見込み。5 月末までの新エネルギー自動車保有量は約 580 万台となった。1～5 月の販売量は 95 万台で、前年同期比 2.2 倍となった。下半期は新エネルギー自動車の消費拡大が見込まれて、原料の負極材料の需要は引き続き好調を維持するだろう。

3) 価格

下半期初期は NC 市場価格が 500～1,000 元/トン上昇すると見込まれている。その要因は以下の通りである。

- ▶ 5 月から石炭系 NC のコストが高くなり、市場供給量が増加したため、6 月に 21 万トンの減産計画が打ち出された。
- ▶ 第 2 四半期から軟ピッチと良質残油の価格上昇により NC のコストが上昇しはじめている。
- ▶ 輸入品市場では、コロナ感染症や企業の保守点検などの影響で輸入品 NC の供給が逼迫して、第 3 四半期の輸入品価格は上昇傾向にある。

第 4 四半期に入ると、NC の増産計画が予定通りに実行されれば、供給量が増加して価格は安定的に推移していくだろう。

情報源：石墨盟より